

春の植物

3年生 青木悠香

少し前まで肌寒さを感じる日もありましたが、徐々に春らしい暖かさになってきました。最近では大学が終わるとアルバイトに行くなどして帰りが遅くなっていたのですが、まだ明るい時間に帰れた日に、いつもとは違う道を通って帰ることにしました。そこは川沿いの並木道で、桜とハナミズキが交互に植えられています。満開でピンク一色だった並木道の桜がすっかり葉桜に変わり、ハナミズキの総苞の白や薄紅色と、桜の新芽の黄緑色がとても綺麗でした。その日は天気あまり良くなかったのでやめました、ここに青空が加わったのを見たいと思い、天気の良い日に写真を撮りに来よう決めました。

歌手の一青窈さんの曲に「ハナミズキ」という曲があります。曲は知っているけれど花は見たことがないという人が多いですが、街路樹としてたくさん植えられています、とても身近な植物です。日本がアメリカに桜の苗木をプレゼントしたお返しに

アメリカから贈られた花として知られます。一見、大きな4枚の花弁があるように見えますが、実はこれは総苞で、総苞の中心にある黄緑色のツブツブの1つ1つが花

です。直径0.5cmほどの小さく目立たない花が集合して順次開花します。つまり、ハナミズキの総苞色は白や薄紅色などですが、本来の花色は黄緑色です。総苞径は8~10cmですが本来の花径は0.5cmです。満開だと思っていた近所のハナミズキの花を見に行ったら、実際は6分咲き程度でした。反対側から見ると総苞は枝に直接つながっています。総苞の先端は虫にかじられたかのように凹んでいます。咲き始めに見ると種子のように見えるようです。内側の2枚と外側の2枚がそれぞれの凹みをあわせることで先端が組み合わさって接続することが出来ます。総苞の色は白、紅、桃、外側が紅で内側が白、黄緑、の5パターンあると言われてはいますが、黄緑色は見つけられませんでした。

